

「健康都市やまと都市計画マスタープラン（案）」に対する市民意見公募結果について

■実施概要

- 募集期間
令和2年11月25日(水)～令和2年12月25日(金)
- 受付方法
持参、郵送、FAX、電子申請
- 周知方法
広報やまと(令和2年11月15日号)、市ホームページ
- 閲覧方法
[文書配架]
街づくり総務課 / 情報公開コーナー / 保健福祉センター / 各分室、連絡所
/ 各学習センター、各コミセン / 市民活動拠点ベテルギウス
[市ホームページ]
- 意見の提出状況
意見者数：5名
意見数：17件

■意見概要と市の見解（順不同）

No.	意見概要	意見に対する市の見解
1	鶴間駅周辺の住宅市街地において、通過交通が多く危険であるほか、想定外の交通量による道路の損傷とそれに伴う振動問題が発生しているため、対応について検討してほしい。	都市計画の観点から、P57の取り組み方針に記載のある「住宅市街地における適切な交通規制の推進」など、交通の安全性向上や快適な生活環境の実現に向けて検討を進めることとしています。
2	大和駅は大和市にとって、市全体の活力向上、地域ポテンシャル向上に資する施設であり、その周辺は産業・商業・文化などの拠点として最も重要であることを認識し、そのような位置づけを明確化する必要があると考える。そのようなニュアンスを少しでも表現してほしい。	大和駅周辺につきましては、本市の「中心拠点」として位置づけており、全市的な視点から、高次の都市機能を提供する場として拠点の形成を目指すこととしています。

3	108 ページの「活力ある活動を支える地域環境の形成」において、業務機能、高次都市機能などをイメージできるよう表現を工夫してほしい。	業務機能や高次都市機能の集積に関する記載について追記を検討します。
4	下鶴間の工業地域、準工業地域に関する記載である、「産業振興に資する適切な施設の配置や計画的な土地利用を総合的に推進」について、具体的内容のイメージが伝わってこない。「適切な施設の配置」は何を意味するのか不明。	住宅等ではなく、産業振興に資する都市基盤施設の配置や土地利用の誘導を目指す表現としていますが、趣旨を損なわない範囲で適切な表現となるよう修正します。
5	50 ページの基本方針では、「都市内外における物流の円滑化や周辺住環境との調和など、産業活動の継続に資する都市空間の形成を促進し、都市の活力創出を促します。」と記述されているが、この文章では物流機能しか読み取れない。生産活動の文言も加えてほしい。	生産活動を含めた産業活動の負荷を抑制し周辺環境と調和する都市空間を形成してく趣旨が読み取れるよう修正します。
6	51 ページの鉄道駅の拠点性向上と機能分担の項において、「市内外の拠点間における対流の増進」と言う記述があるが、意味が伝わりにくい。対流の言葉を「ヒト・モノ・カネ」に置き換えたかどうか。	分かりやすい表現に修正します。
7	51 ページの「空きビル、空き店舗の活用推進」に空き地も加えてほしい。	空き地の活用推進について追加します。
8	個別計画になるが、3,000 平方メートルから 5,000 平方メートルの工場、業務系土地利用の転換を防ぐ施策や経済社会状況に応じた大和市に立地する可能性のある企業群、セクション、ブランチなどの検討を行い企業誘致や開発プロジェクトに繋げてほしい。	計画には反映できませんが、所管部署にご意見を伝えます。

9	業務系土地利用の減少などの記述がみられるが、反対に業務系土地利用の増加についての考え方についても工夫がほしい。せめて、43 ページの図の「幅広い役割を持つ中心的な商業地」の区分を「幅広い役割を持つ中心的な業務・商業地」に変更できないか検討をお願いしたい。42 ページの記述も再検討をお願いしたい。	業務系土地利用の増進に関する表現について、記載を検討します。
10	33 ページや 45 ページに大和市南北の人口バランスを取ることが記述されているが、具体策が見えない。空家の有効活用を南北の人口バランス確保や住宅セイフティネットと関連して少しでもマスタープランに記述できないか。	具体的な施策については個別計画にゆだねております。
11	生産緑地の 2022 年問題(生産緑地指定解除)は都市マスタープランの土地利用に大きな影響を与える。この点についての市の方針や、指定解除の影響を緩和する方針や施策などを示さなくとも良いのか。	P60「②憩いある・・・取り組みの推進」における取り組み方針に基づき推進していくこととしています。 具体的な施策については個別計画にゆだねております。
12	P33、47 など「防災」「誰もが出かけたい」がキーワードとされています。そのため、「治安」の悪さの改善を目指すことも計画に盛り込んでほしい。	P57「③安全に日常生活を・・・取り組みの推進」における取り組み方針に基づき推進していくこととしています。
13	まちづくりにおける市としての関わり方を能動的にし、適切な情報発信することで将来的な発展に結びつけるようなことも行ってほしい。	計画には反映できませんが、ご意見として承りました。
14	ICT の活用は MaaS に限定しているように見えます。初めから特定する必要はなく、SDGs 全体を見据えた記載や医療に活用することも記載するなどし、夢を描ける計画にできると良いと思います。特にコロナに関する情報や病床情報、市のサポート情報などの発信は市民生活にとって重要になってくると思います。	計画には反映できませんが、所管部署にご意見を伝えます。

15	通常の生活を送っている中では、市の情報や今回のようなパブコメがあるなどの情報には触れることがないと思います。 オープンデータ化も、単に情報を開示するだけではなく「如何に市民へ伝えるか」を意識したデータ活用を意識していただけるといいと思います。	計画には反映できませんが、ご意見として承りました。
16	P57「安心して暮らせる都市づくり」の「取り組み方針」内、「②安全・円滑に避難、救援できる都市空間・環境の形成と自助・共助を支える取り組みの推進」に「自立・分散型電源の導入によるエネルギー多重化の推進（大規模災害時における資関連施設や医療施設等の機能確保）」という方針を入れてほしい。	計画には反映できませんが、ご意見として承りました。
17	P76 下段の「まちづくり組織一覧」の「公園愛護会」あるいは「みどりの愛護会」の欄に「つるまの森保全協力会」を掲載いただきたい。	「公園愛護会」の欄に追記します。

「健康都市やまと都市計画マスタープラン（案）」に対する意見交換会結果について

■実施概要

➤ 日時・会場:

とき		ところ
12月4日(金)	18:00~20:00	市民交流拠点ポラリス(Room1)
12月5日(土)	10:00~14:00	市民交流拠点ポラリス(Room1)
12月11日(金)	18:00~20:00	市民活動拠点ベテルギウス(2階会議室2)
12月12日(土)	10:00~14:00	市民活動拠点ベテルギウス(2階会議室2)
12月15日(火)	10:00~20:00	オンライン
12月18日(金)	18:00~20:00	渋谷学習センター(304 会議室)
12月19日(土)	10:00~14:00	渋谷学習センター(304 会議室)
	10:00~19:00	オンライン

➤ 形式・参加方法

①会場

形 式: パネルを展示し、職員と市民による直接対話型のセッション方式

参加方法: 予約不要・入退場自由

②オンライン

形 式: Web 会議システム Zoom を利用した 1 対 1 形式(30 分/回)

参加方法: 事前予約制(申込期間 令和 2 年 11 月 15 日~12 月 8 日)

➤ 周知方法

広報やまと(令和 2 年 11 月 15 日号)

市ホームページページ

➤ 参加状況

参加者 : 7 名(うちオンライン 0 名)

意見数 : 10 件

■意見概要と市の見解(順不同)

No.	意見概要	意見に対する市の見解
1	中央林間やつきみ野の、既存の公共空間を「集う場」にしてほしい(小学校や公園などを活用)。	計画には反映できませんが、所管部署にご意見を伝えます。
2	まちに携わる人が少ない。まだリタイアしていない世代が活躍してくれると良い。	計画には反映できませんが、ご意見として承りました。

3	2022年問題（生産緑地の制限解除）にあまり触れていないのが気になる。対応について記載してほしい。	P60「②憩いある・・・取り組みの推進」における取り組み方針に基づき推進していくこととしています。 具体的な施策については個別計画にゆだねております。
4	相模原市に抜ける道路の整備が進んでいないことが課題である。福田相模原線などの道路整備の優先順位を定める計画が必要である。	計画には反映できませんが、ご意見として承りました。
5	高座渋谷や桜ヶ丘などの南部地域に賑わいが感じられない（各駅前や高座渋谷西モール）	P51「活躍しやすい都市づくり」の取り組み方針において、鉄道駅周辺の拠点性の向上と機能分担を目指しており、地域拠点における生活に身近な都市機能の計画的な集約を推進していくこととしております。
6	浸水対策（河川だけにとどまらない治水対策）をしっかりとったほうがよい。	P57「安心して暮らせる都市づくり」の取り組み方針において、被害を拡大させない都市空間の形成を目指しており、総合治水対策を推進していくこととしております。
7	歩道が歩きづらいと外出したくない。歩道整備が大切である。	p48「繋がりが生まれる都市づくり」の取り組み方針において、人中心の移動ネットワークの形成を目指しており、ゆとりある歩行空間の整備と再編を進めていくこととしております。
8	地域包括ケアとまちづくりの連携は非常に大切な視点である。	PI40「実現に向けた着実な推進」の中で、様々な分野の横断的な連携について記載しております。 具体的な施策については個別計画にゆだねております。
9	南林間駅周辺にも人々が集える拠点が欲しい。	計画には反映できませんが、ご意見として承りました。
10	ラダーパターンの意味が分かりづらい。	用語集を作成し、説明を記載します。